

## 神学院の生活



皆様こんにちは、私はペトロ・ホアン・ドック・ロイと申します。ベトナムから参りました。広島教区の神学生です。今年の4月から日本カトリック神学院東京キャンパスで哲学科一年生として哲学を学ばせてもらうことになりました。日本カトリック神学院は全国から人が集まるので、年齢や出身地国籍が違う人がたくさんいます。このような環境ははじめてだということもあり、緊張していた時間が長くありました。今では、生活リズムがついて一息つけることもあり、祈りと勉強、いろいろな人との関わりの中で過ごしています。

初年度生は哲学科生として、哲学を学ぶわけですが、(哲学入門、哲学的人間論、形而上学、哲学史、西洋哲学史。。)知識の探求をしていく学問ということで考え方がとても深いです。他にも、教会の歴史、論理学、聖書、カテキズム、ラテン語や英語などを学ぶことが多くあります。これだけ学ぶことがあれば当然、分からないことも出てくるのですが、先生や同級生、先輩が教えてくれます。学んだことを糧にしながらこれからも歩んでいこうと思います。

私は日本に来て、4年間ぐらい、ずっと日本語や日本の文化や日本の習慣などを勉強しています。しかし、日本語をうまく使うのが私にとってまだ難しいと思いますから、どこでも日本語を意識して勉強しております。現在日本語で哲学を勉強することはとても大変だと感じています。入学してから毎日、授業に追われています。勉強が進むにつれて、だんだん内容が分かって来たと思います。特に、最初は分からなかったアウグスティヌスの「三位一体」という科目も読み進めると分かった気になっていくことで、勉強も楽しくなってきました。

神学院で大切なのは勉強だけではありません。自分を聖化することも大切です。教会の祈りを祈ったり、念祷したりすることなどもあります。本当に神学院の生活はいつも忙しいと思います。また、神学院で共同の生活なので、兄弟たちとつながり、お互いによく成長できるように頑張っています。

神学院での生活に慣れながら、人間的・知的・霊的・宣教司牧的に、少しずつでも成長していければと思っております。私は欠点と限界がたくさんあるから、神様の道具になるために、神様の用意された道を最後まで歩み続けることができるように、皆様に見守っていただきたいと考えており、そのためのお祈りをお願いいたします。



ロイさんの部屋で

(編) ロイさんは7月下旬に夏休みに入ると、岡山教会に帰ってこられます。お会いしたときは歓迎しましょう。

なお、もうお一人居られたホップさんはベトナムに帰られ、神学院で1年間神学生として生活されましたが、別の道に進まれる決断をされたそうです。別の道に進まれても神様のお恵みに満ちた生活であるよう、私達もホップさんの為にお祈り致します。

(以上、岡山教会報「いぶき」7月号より)



2010年11月23日 ザビエル祭



2010年11月23日 聖母月の集い



2011年4月1日 入学式（前列左から4人目）



2011年4月24日 哲学科1と信者さん交流会